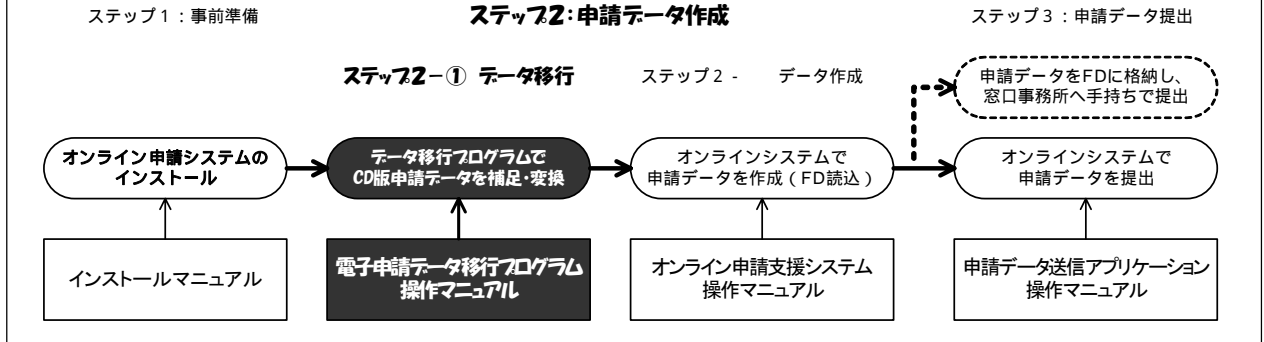


CD-ROM 版で作成した申請データを再利用する方

道路情報便覧 2004 年以前の CD-ROM 版で作成した申請データを、オンライン申請システムで
使用できるデータへ変換する場合は、『電子申請データ移行プログラム』をご利用ください。

オンライン申請の流れと参照マニュアル



特殊車両オンライン申請システム

電子申請データ移行プログラム

操作マニュアル

申請者用

Ver.2005-11

国土交通省

改訂履歴

版数	改訂年月日	修正内容
Ver. 1.0	平成 16 年 2 月	オンライン申請開始による全面改訂
Ver. 1.1	平成 16 年 3 月	ファイル変換機能修正による改訂 (2-5-1 入力方法指定画面)
Ver. 1.2	平成 16 年 7 月	新規開発車両、連結車に関する軸重計算機能修正による改訂 ※マニュアルの改訂はなし
Ver. 1.3	平成 16 年 12 月	最外輪中心間距離 (G コード) が「2」の場合に「1」に変換される不具合修正による改訂 ※マニュアルの改訂はなし
Ver. 1.4	平成 17 年 3 月	申請支援システム車両入力方法変更による改訂 (1 はじめに、2-5 画面操作方法)
Ver. 2005-11	平成 17 年 11 月	表紙、版数のみ変更 (内容の改訂は無し)

目 次

1	はじめに	1
2	電子申請データ移行プログラムの操作	2
2-1	電子申請データ移行プログラムの起動.....	2
2-2	電子申請データ移行プログラムの終了.....	3
2-3	画面共通処理操作方法.....	4
2-4	電子申請データ移行プログラム処理の流れ.....	4
2-5	画面操作方法.....	6
2-5-1	入力方法指定画面	6
2-5-2	申請情報入力画面	8
2-5-3	車両情報入力画面	12
2-5-4	経路情報入力画面	15
2-5-5	未収録経路情報登録画面	17
2-5-6	出力ファイル指定画面	18
3	申請支援システムの操作	19
3-1	申請支援システムでの移行データの読み込み.....	19

本マニュアルで記載している図例はMicrosoft Windows2000 で作成しています。
ご使用のパソコンと OS の違い等により、見た目上、異なる場合もあります。

1 はじめに

電子申請データ移行プログラム(以下、移行プログラム)では、CD-ROM 版電子申請システムで作成されたデータを利用して、申請支援システムにて申請可能なデータに変換(移行)するために利用します。

(1) 処理内容

① CD-ROM 版 FD 読み込み

CD-ROM 版電子申請システムで作成された、ファイル(*.dat)を読み込み、画面に表示します。不足項目を手入力で補い、変換データを作成します。

② 変換データ再編集

①で作成したデータまたは、編集中に途中保存したデータ(※)を再度読み込み、再編集を行えます。

変換前の情報が画面に表示され、編集後、再度変換データを作成します。

※画面に配置されている途中保存ボタンを押す事により、編集途中のデータを一時ファイルに保存できます。

途中保存したデータを算定支援システムで読み込む事はできません。移行プログラムで、再度読み込み、最後まで編集し、変換を行って下さい。

2 電子申請データ移行プログラムの操作

2-1 電子申請データ移行プログラムの起動

インストールが正しく終了すると、スタートメニューに「特車 データ移行プログラム」のアイコンが登録されます。プログラムの起動は、このアイコンをクリックして行います。

具体的には、タスクバーの「スタートボタン」→「プログラム」→「特車 電子申請データ移行」→「特車 データ移行プログラム」の順でマウスを操作します。



図 2-1 データ移行プログラム起動方法

2-2 電子申請データ移行プログラムの終了

各画面(例: 図 2-2.1 入力方法指定画面、図 2-2.2 申請情報入力画面参照)の下部にある終了ボタンを押して下さい。終了確認メッセージ(図 2-2.3)でOKボタン押下後、移行プログラムを終了します。

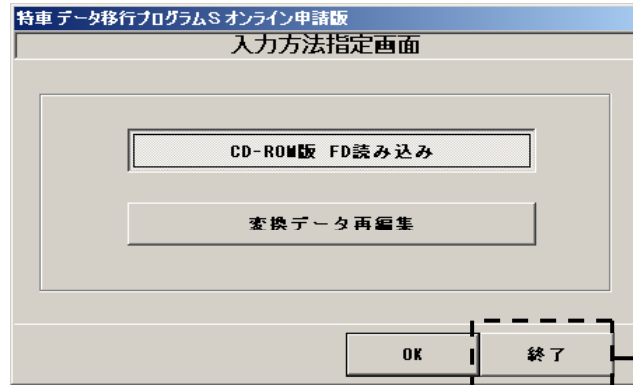


図 2-2.1 入力方法指定画面



図 2-2.2 申請情報入力画面

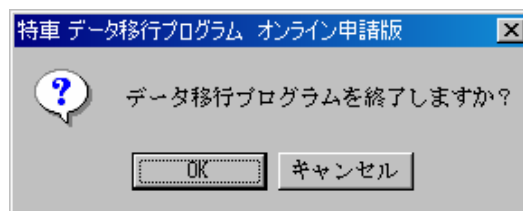


図 2-2.3 終了確認メッセージ

2-3 画面共通処理操作方法

図 2-3 画面共通処理説明

①画面名称

②途中保存 ボタン : 編集中のデータを一時ファイルに保存します。
再度編集する場合は、入力方法指定画面で、変換データ再編集を選び、保存したファイルを指定して下さい。

戻る ボタン : 前の画面へ遷移します。

次へ ボタン : 次の画面へ遷移します。

メニューへ戻る ボタン : 入力方法指定画面へ遷移します。

終了 ボタン : 移行プログラムを終了します。

変換 ボタン : 入力したデータを変換します。

(変換 ボタンは、経路情報登録画面でのみ表示されます)

※項目名が青字は必須、黒字は任意入力項目とします。また、入力不可フィールドの項目名は灰色で表示されます。

2-4 電子申請データ移行プログラム処理の流れ

移行プログラムでは、移行対象データ、処理内容により画面処理の流れが異なります。画面のフローは次ページ 図 2-4.1 画面フロー図を参照して下さい。

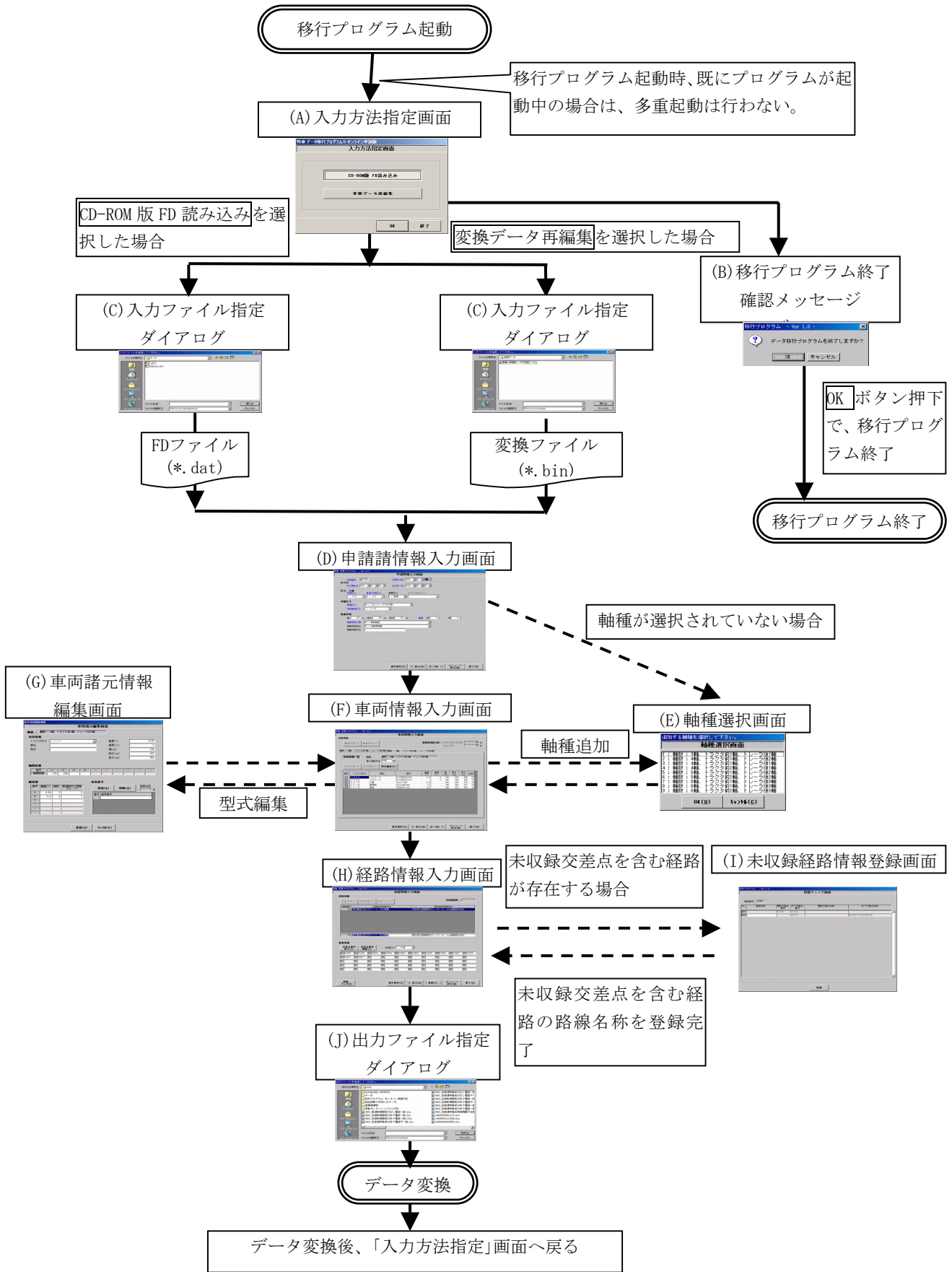


図 2-4.1 画面フロー図

2-5 画面操作方法

2-5-1 入力方法指定画面

入力方法指定画面より移行する対象データと移行方法をオプションボタンより指定します。

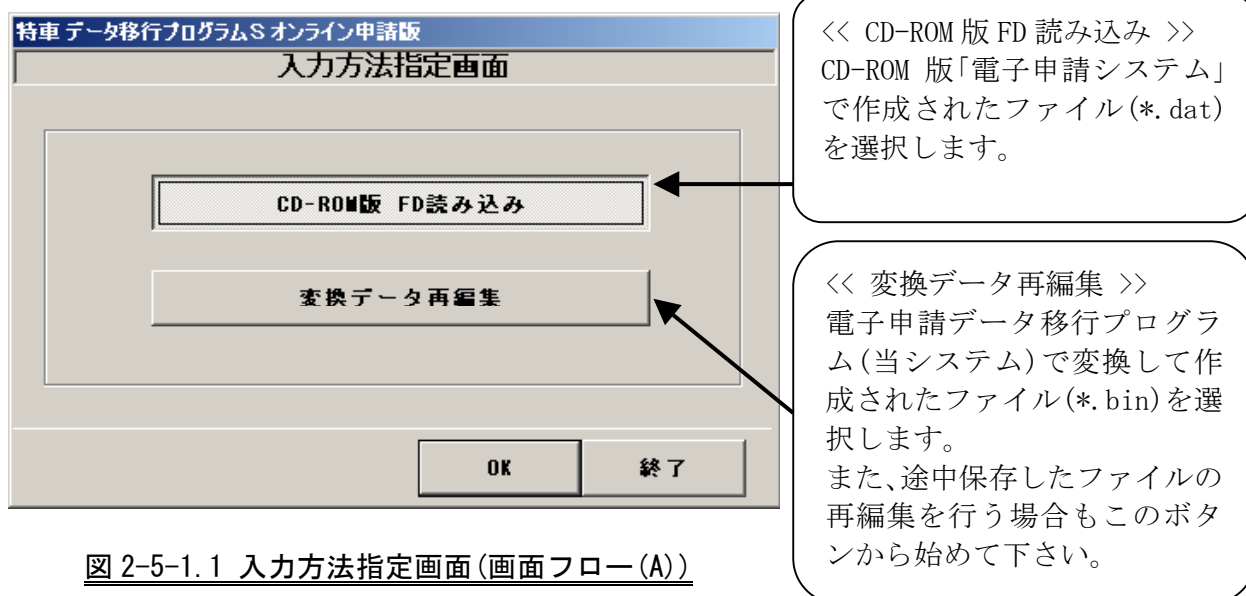
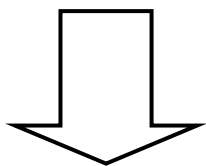


図 2-5-1.1 入力方法指定画面(画面フロー(A))



入力方法指定画面で、**OK** ボタンを選択した場合、入力ファイル指定画面(図 2-5-1.2)が開き、読み込むファイルを指定できます。

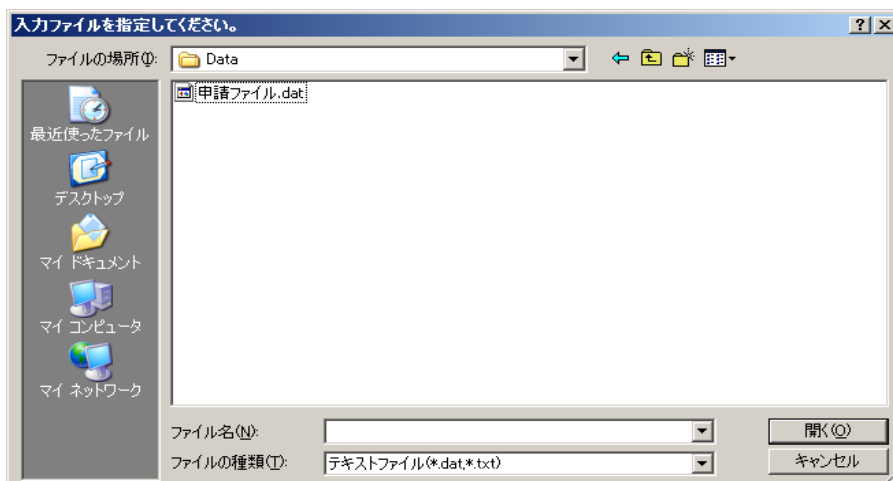


図 2-5-1.2 入力ファイル指定画面(画面フロー(C))

「変換データ再編集」で、指定されたファイルによって、以下のメッセージが表示されます。

(1) 途中保存データの場合

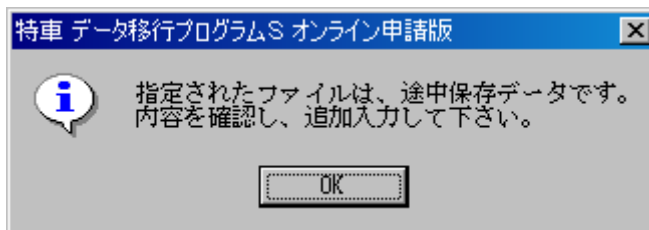


図 2-5-1.3 ファイル読み込み メッセージ①

⇒**途中保存**機能で作成されたデータで読み込んだ際に表示されます。保存時の編集内容が表示されるので、未入力項目を補足し、移行データを作成して下さい。

(2) 新規開発車両の移行データの場合

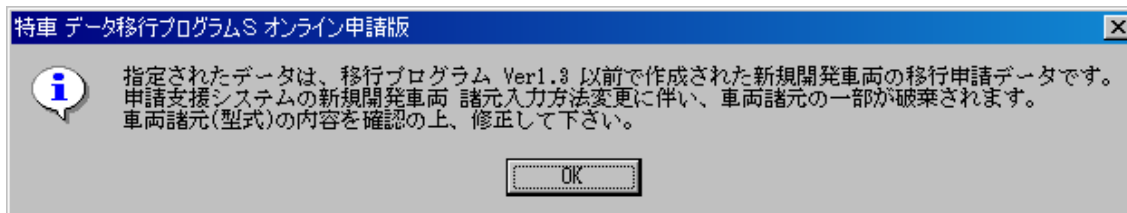


図 2-5-1.4 ファイル読み込み メッセージ②

⇒連結車の新規開発車両の変換データ(途中保存データは除く)を読み込んだ際に表示されます。申請支援システムの新規開発車両 車両諸元入力方法変更に伴い、Ver1.3 以前の移行プログラムで作成されたデータを読み込んだ場合、車両諸元の一部が破棄されます。車両情報入力画面より登録内容を確認し修正して下さい。

2-5-2 申請情報入力画面

申請に関する情報を入力します。

項目名称が青色のものは、入力必須項目です。必ず入力して下さい。

The screenshot shows the '申請情報入力画面' (Application Information Input Screen) with the following fields and callouts:

- 通行期間** (Passage Period): 通行開始日 (2003/08/30) and 通行終了日 (2004/08/29).
- 区分、分類** (Classification): 申請区分 (1: 新規), 普通/包括区分 (1: 普通), 事業区分 (1: 路線), and 変更申請理由区分 (Change Application Reason Classification).
- 車種区分** (Vehicle Type Classification): 車種区分 (01: 建設機械類) and 申請車両区分 (1: 新規開発車両).
- 積載貨物** (Cargo): 幅 (cm), 高さ (cm), 長さ (cm), 積載貨物分類 (Cargo Classification), 積載貨物品名 (Cargo Item Name), and 積載物漢字名 (Cargo Kanji Name).

Callouts provide additional information:

- 変更申請理由区分**: 申請区分で、更新申請または変更申請を選択した場合のみ、設定できます。(リストは表 2-5-5.1 参照)
- 積載貨物情報**: 特例 8 車種、建設機械類、新規格車の場合、積載貨物分類コード、積載貨物品名コードは入力できません。(リストは表 2-5-5.4 参照)
- 積載物漢字名**: 積載貨物品名で、「その他」を選択した場合のみ、入力できます。

Buttons at the bottom: 途中保存 (Y), << 戻る (B), 次へ (H) >>, メニューへ戻る (M).

表 2-5-2 申請情報入力画面 (画面フロー (D))

<< 車種区分 >>
 新規作成 (手入力) の場合、全ての車種区分が表示されます。それ以外の場合、読み込んだファイルに設定されている車両分類の車種区分しか表示されません。
 (リストは表 2-5-5.2 参照)

表 2-5-2.1 変更申請理由区分 項目一覧

No	変更申請理由
1	車両の交換
2	申請者情報の変更
3	車両台数の減少
4	トレーラ台数の増加
5	通行経路の変更
6	許可期間の変更
7	その他

表 2-5-2.2 車種区分 項目一覧

No	車両の種類	車種区分	備考
1	トラック	トラック	
2	建設機械	建設機械類	
3	一般セミトレーラ	一般セミトレーラ(バン型)	特例 5 車種
4		一般セミトレーラ(タンク型)	〃
5		一般セミトレーラ(幌枠型)	〃
6		一般セミトレーラ(コンテナ型)	〃
7		一般セミトレーラ(自動車運搬用)	〃
8		一般セミトレーラ(あおり型)	追加特例 3 車種
9		一般セミトレーラ(スタンション型)	〃
10		一般セミトレーラ(船底型)	〃
11		一般セミトレーラ(その他)	
12	重セミ	重セミ	
13	海上コンテナ	海上コンテナ(8 ‘ 6)	
14		海上コンテナ(9 ‘ 6)	
15		海上コンテナ(その他)	
16	ポールトレーラ	ポールトレーラ	
17	フルトレーラ	フルトレーラ(バン型)	特例 5 車種
18		フルトレーラ(タンク型)	〃
19		フルトレーラ(幌枠型)	〃
20		フルトレーラ(コンテナ型)	〃
21		フルトレーラ(自動車運搬用)	〃
22		フルトレーラ(あおり型)	追加特例 3 車種
23		フルトレーラ(スタンション型)	〃
24		フルトレーラ(船底型)	〃
25		フルトレーラ(その他)	

表 2-5-2.3 申請車両区分 項目一覧

No	申請車両区分
1	新規開発車両
2	新規格車
3	その他

表 2-5-2.4 積載貨物分類 項目一覧(1/2)

No	積載貨物分類	積載貨物品名
1	車両(自走式)	トラッククレーン
2		トラッククレーン以外の建設機械
3		バス
4		オフロードダンプ
5		電源車
6		空車
7		その他
8	車両(トレーラ、トラクタ) 積載	建設機械
9		商品自動車
10		電源車体
11		その他
12	コンテナ	海上コンテナ(ボックス)
13		海上コンテナ(タンク)
14		国内コンテナ
15		J Rコンテナ
16	鋼製品	鋼橋桁等
17		鋼管
18		鋼矢板
19		レール
20		形鋼(H型、アルミ、鉄管等)
21		厚板(鋼、アルミ)
22		コイル(鋼、アルミ)
23		その他(鋼製容器、鋳鍛鋼品等)
24	コンクリート製品	コンクリート橋桁
25		コンクリート杭
26		プレハブ建築部材
27		電柱
28		ボックスカルバート
29		ヒューム管
30		その他
31	機械製品	産業機械(プラント機械、工作機械、金属加工機械、 機械架台等)
32		保線用機器
33		回転炉等
34		その他
35	石油製品	揮発油(ガソリン、軽油、灯油等)
36		液化製品(LP ガス、水素、酸素等)
37		その他(フェノール、ポリエステル樹脂、塊用粉末 添加剤)

表 2-5-2.4 積載貨物分類 項目一覧(2/2)

No	積載貨物分類	積載貨物品名
38	電気製品	発電機
39		変圧器等
40		ポンプ
41		送風機
42		電線ケーブル
43		家電製品
44		その他
45	木材	原木
46		製材品
47		植木
48		その他
49	食料品	農産物
50		水産物
51		肥料
52		その他
53	その他	雑貨
54		セメント
55		ロールペーパー(巻紙)
56		その他
57	空車	

2-5-3 車両情報入力画面

車両に関する情報を入力します。
車両情報は軸種毎に車両情報を設定します。

(1) 軸種選択画面

軸種選択画面は、申請情報入力画面で選択された車種区分により、表示内容が異なります。
(表 2-5-3 参照)

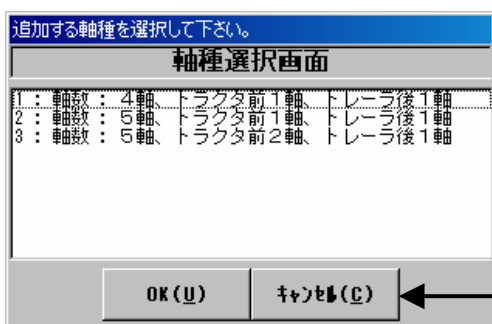


図 2-5-3.1 セミトレーラ軸種リスト
(画面フロー(E))

<< OK >>
追加する軸種を確定する場合に押して下さい。
ボタン押下後、「車両情報入力」画面へ戻ります。
但し、既に登録されている軸種を選択した場合、軸種は追加されません。
<< キャンセル >>
軸種追加をキャンセルしたい場合に押して下さい。軸種は追加されません。

表 2-5-3 連結区分毎 軸種一覧

No	連結区分	軸種
1	単車	軸数 : 2 軸、トラック前 1 軸
2		軸数 : 3 軸、トラック前 1 軸
3		軸数 : 3 軸、トラック前 2 軸
4		軸数 : 4 軸、トラック前 2 軸
5	セミトレーラ	軸数 : 3 軸、トラクタ前 1 軸、トレーラ後 1 軸
6		軸数 : 4 軸、トラクタ前 1 軸、トレーラ後 2 軸
7		軸数 : 4 軸、トラクタ前 1 軸、トレーラ後 1 軸
8		軸数 : 4 軸、トラクタ前 2 軸、トレーラ後 1 軸
9		軸数 : 5 軸、トラクタ前 1 軸、トレーラ後 2 軸
10		軸数 : 5 軸、トラクタ前 2 軸、トレーラ後 2 軸
11		軸数 : 5 軸、トラクタ前 1 軸、トレーラ後 3 軸
12		軸数 : 6 軸、トラクタ前 1 軸、トレーラ後 3 軸
13		軸数 : 6 軸、トラクタ前 2 軸、トレーラ後 3 軸
14	フルトレーラ	軸数 : 4 軸、トラクタ前 1 軸、トレーラ後 1 軸
15		軸数 : 5 軸、トラクタ前 1 軸、トレーラ後 1 軸
16		軸数 : 5 軸、トラクタ前 2 軸、トレーラ後 1 軸

※ここに表示されていない軸種(その他軸種)に関しては、移行は行えません。申請支援システムへ入力して下さい。

(2) 車両情報入力画面

項番(1)「軸種選択画面」で選択した軸種の全車両情報の登録を行います。

CD-ROM 版 FD 読み込みの場合、指定したファイルによっては一部のデータをファイルから取得できず、データ項目未設定となり、そのままでは先に進めない場合があります。その場合は、車両諸元編集画面でエラー内容を確認し、不足項目を補足し、先に進んで下さい。※車両情報の登録台数には基本的に制限はありません。

<< 軸種追加 >>

複数軸種の包括申請で、軸種を追加する際に押して下さい。
軸種選択画面が表示され、追加する軸種を指定できます。

<< 軸種削除 >>

確認画面表示後、表示中の軸種を削除します。全ての軸種が削除された場合、自動で軸種選択画面が表示されます。軸種選択後、再度車両情報を入力して下さい。

The screenshot shows the '車両情報入力画面' (Vehicle Information Input Screen) with the following elements:

- Buttons: 軸種追加(S), 軸種削除(H), 型式追加(A), 型式削除(D), 型式コピー(C), 型式編集(E)
- Fields: 登録車両総台数 (トラック/トラクタ: 60台, トレーラー: 60台), 軸種 (4軸, トラクタ前1軸, トレーラー後1軸), 軸数 (4軸, トラクタ前1軸, トレーラー後1軸), 最小回転半径 (1600 cm)
- Table:

番号	トラクタ区分	車名	型式	重量 (t)	乗員 (人)	幅 (cm)	高さ (cm)	長さ (cm)	台数
001	トラクタ	フォワード	KC-FSR32G4-007	3.78	3	226	254	889	20
002	トラクタ	フォワード	KC-FSR32L4-017	4	3	247	254	849	10
003	トレーラー	川西	TSL211-001	2.83		249	290	910	10
004	トレーラー	新明和	TSL213AA-002	3.3		249	298	921	10
005	トレーラー	東急	TV20G7D1-612	4.27		249	378	978	10

Bottom buttons: 途中保存(Y), << 戻る(B), 次へ(M) >>, メニューへ戻る(M), 終了(X)

<< 登録車両台数 >>

現在登録されている車両の台数を表示します。

<< 軸種 >>

複数軸種の包括申請の場合、登録されている軸種分のタブが表示されます。軸種を選択し、車両情報を編集して下さい。

<< 車両情報リスト >>

現在登録されている車両情報のリストです。

図 2-5-3. 2 車両情報入力画面 (画面フロー(F))

<< 型式追加 >>

車両情報を 1 行追加します。
「車両諸元編集」画面が表示されるので、追加する車両情報を入力して下さい。

<< 型式削除 >>

選択されている車両情報をリストから削除します。

<< 型式コピー >>

選択されている車両情報をコピーします。但し、車両番号はコピーされません。

<< 型式編集 >>

選択されている車両情報を編集します。
「車両諸元編集」画面が表示されるので、車両情報を編集して下さい。

(3) 車両諸元編集画面

車両諸元情報の編集を行います。

型式追加の場合は、全ての項目が空白で表示されます。型式編集の場合は、登録されている内容が表示されるので、編集して下さい。

車両諸元編集画面

軸種：軸数：4軸、トラクタ前1軸、トレーラ後1軸

車両情報

トラクタ区分：トラクタ

車名：フォワード

型式：RC-FSR32G4

重量(t)：3.78

乗員(人)：3

積載貨物重量(t)：8.2

幅(cm)：226

高さ(cm)：254

長さ(cm)：689

軸間距離

番号	L1	L2	L3	L4	L5	L6	L7	L8	L9	L10
軸間距離(cm)	489	220	110				589			

軸情報

番号	軸重(t)	輪数	最速輪中心距離(Gコード)
A	1.89	2	2
B	1.89	2	2
C			
D			
E			
F			

車両番号

追加(A) 削除(D) 登録台数 4台

番号	車両番号
1	横浜012あ2012
2	横浜012あ2013
3	横浜012あ2015
4	練馬41<701

登録(U) キャンセル(C)

「積載貨物重量」：トラック、セミトレーラ(トレーラ)、フルトレーラ(トラクタ・トレーラ)のみ入力可能です。

「車両番号追加」：リストに1行空白行を追加します。追加する車両番号を入力して下さい。

「車両番号削除」：選択中の車両番号を削除します。

図 2-5-3.3(1) 車両諸元編集画面(画面フロー(G))

「登録」

編集した内容を保存し、「車両情報入力」画面へ戻ります。

「キャンセル」

編集した内容を保存しないで、「車両情報入力」画面へ戻ります。

データ登録時、軸間距離、軸重のチェックにて、以下のようなエラーが出る事があります。

それぞれメッセージの内容に従い、データを確認して下さい。(図 2-5-3.(2)~(3)参照)

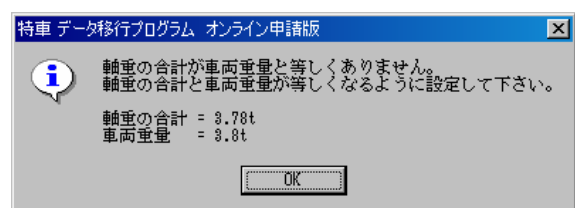
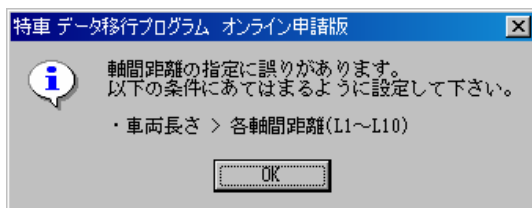


図 2-5-6-1.3(2) エラーメッセージ1(軸間距離) 図 2-5-6-1.3(3) エラーメッセージ2(軸重)

2-5-4 経路情報入力画面

経路に関する情報を入力します。

経路情報登録後、**変換**ボタン押下にて、データを変換して下さい。

<< 経路追加 >>

新たに1経路追加します。

<< 経路削除 >>

選択されている経路を削除します。

<<経路コピー>>

選択されている経路をコピーし、1経路追加します。

<< 申請経路数 >>

登録中の経路数を表示します。

尚、「往復区分」が「片道」の場合は、1行=1経路、「往復」の場合は、1行=2経路で計算しています。

特車 データ移行プログラム オンライン申請版

経路情報入力画面

経路情報

経路追加(A) 経路削除(D) 経路コピー(E)

申請経路数: 2

経路番号	出発地住所漢字名	目的地住所漢字名
001	東京都品川区口1-1 ××埠頭	神奈川県横浜市中区△△2-2 ○○運送株式会社

001|東京都品川区口1-1 ××埠頭 | 神奈川県横浜市中区△△2-2 ○○運送株式会社

路線情報

交差点番号挿入(I) 交差点番号削除(L) 往復区分: 1: 往復

01	552853	02	552398	03	508303	04	553254	05	514533	06	514532	07	514525	08	514662	09	514663	10	514329
11	514211	12	520817	13		14		15		16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25		26		27		28		29		30	
31		32		33		34		35		36		37		38		39		40	
41		42		43		44		45		46		47		48		49		50	

未収録経路登録(K) 途中保存(Y) << 戻る(B) < 変換(E) > 入力メニューへ戻る(M) 終了(X)

<<経路リスト>>

登録中の経路情報の出発地住所、目的地住所が表示されます。交差点番号の編集を行う場合は、リストから目的の行を選択し、画面下部の交差点番号編集エリアで編集して下さい。

図 2-5-4 (1) 経路情報入力画面(画面フロー(H))

<< 未収録経路登録 >>

登録経路に未収録交差点が含まれている場合、未収録交差点登録を行う必要があります。**変換**または次画面へ遷移する前に、**未収録経路登録**ボタンを押して確認して下さい。

登録された経路に未収録交差点がある場合、未収録経路情報登録画面が表示されます。画面項目を入力し、登録して下さい。

未収録交差点がない場合、メッセージが表示され未収録経路情報登録画面の表示は行われません。

<< 交差点番号挿入 >>

編集中の交差点番号の前に交差点番号を挿入します。

<< 交差点番号削除 >>

編集中の交差点番号を削除します。

申請経路に未収録交差点が含まれ、未収録情報登録を行わずに、**変換**ボタン、あるいは**次へ**ボタンを押した場合は、以下のメッセージが表示されます。
未収録経路登録ボタンを押し、未収録経路の登録を行って下さい。

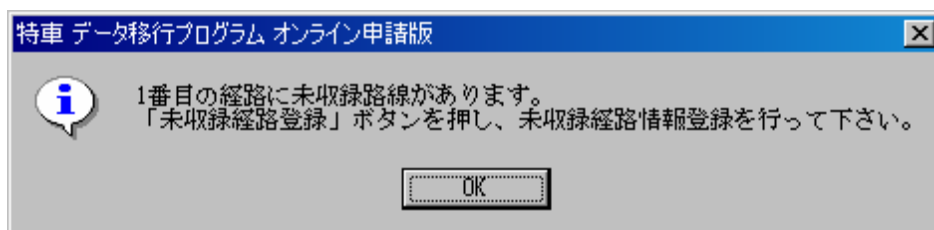


図 2-5-4(2) 未収録経路情報 未登録警告メッセージ

また、申請経路に未収録交差点が含まれず、**未収録経路登録**ボタンを押した場合は、以下のメッセージが表示されます。

未収録経路の登録は不要ですので、**変換**ボタン、あるいは**次へ**ボタンを押して下さい。

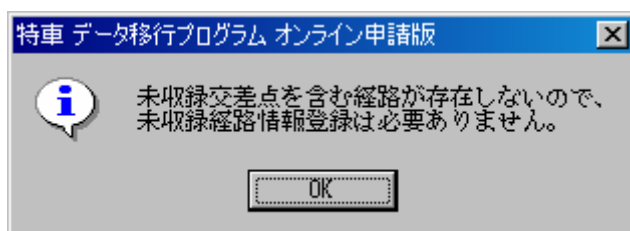


図 2-5-4(2) 未収録経路情報 未登録警告メッセージ

2-5-5 未収録経路情報登録画面

経路番号 001 の経路から順に未収録交差点を含む経路だけが表示されます。

未収録交差点のみ、路線名称、開始交差点名称、終了交差点名称を入力できます。

入力が済みましたら、登録ボタンをクリックしてください。全経路の登録処理完了後、経路情報入力画面に戻ります。

特電 データ移行プログラム オンライン申請版

未収録経路情報登録画面

経路番号 : 001

No	路線名称	開始交差点番号	終了交差点番号	開始交差点名称	終了交差点名称
001	先頭未収録	99999	554833	〇〇県△△市××町	
002		-	554806		
003		-	554803		
004		-	554835		
005		-	554804		
006	最後未収録	-	99999		●●県▲▲市××町

<<登録>>

編集中の未収録経路情報を登録し、次の未収録経路を表示します。

※前の未収録経路を再編集したい場合は、一旦全ての未収録経路情報を登録し、再度「経路情報入力」画面にて未収録経路登録ボタンを押して下さい。

図 2-5-5(1) 未収録経路情報登録画面(画面フロー(1))

※先頭もしくは最後の交差点が未収録の場合の例

特電 データ移行プログラム オンライン申請版

未収録経路情報登録画面

経路番号 : 001

No	路線名称	開始交差点番号	終了交差点番号	開始交差点名称	終了交差点名称
001		555555	554833		
002	未収録路線 1 及び 2	-	99999		未収録交差点
003	未収録路線 1 及び 2	-	554803		
004		-	554835		
005		-	554804		
006		-	555555		

図 2-5-5(2) 未収録経路情報登録画面(画面フロー(1))

※未収録路線内に路線が複数存在する場合の例

2-5-6 出力ファイル指定画面

出力ファイル名を入力します。出力先とファイル名を指定して下さい。

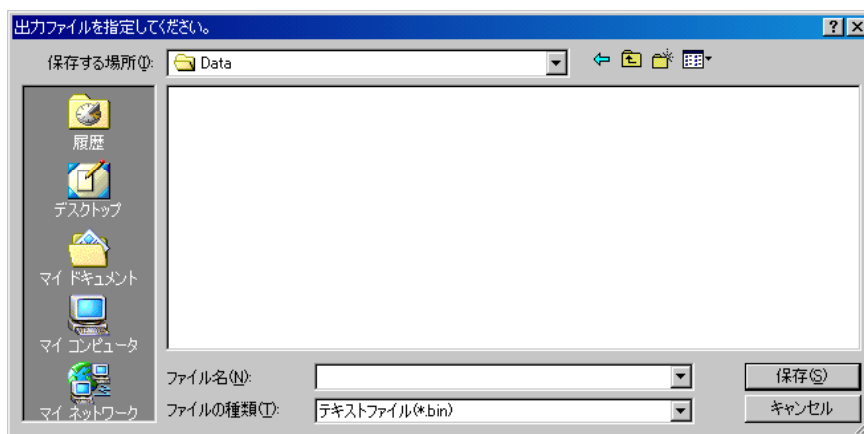


図 2-5-6 出力ファイル指定画面(画面フロー(J))

データの変換が終了した後、画面は入力方法指定画面へ戻ります。

3 申請支援システムの操作

3-1 申請支援システムでの移行データの読み込み

申請支援システムでの移行データ読み込み方法は、通常の FD 読み込みと同様の方法で操作します。(操作手順は、以下の通りです。)

- ① 申請支援システム メインメニューから申請データ作成ボタンを選択します。

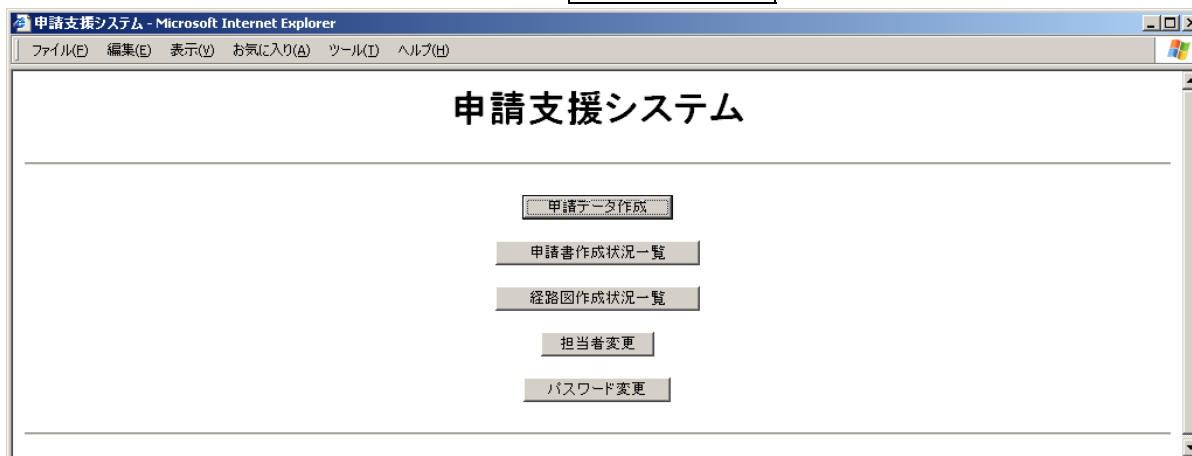


図 3-1.1 申請支援システムメインメニュー

- ② 申請者選択画面から本人/代理人のいずれかを選択します。

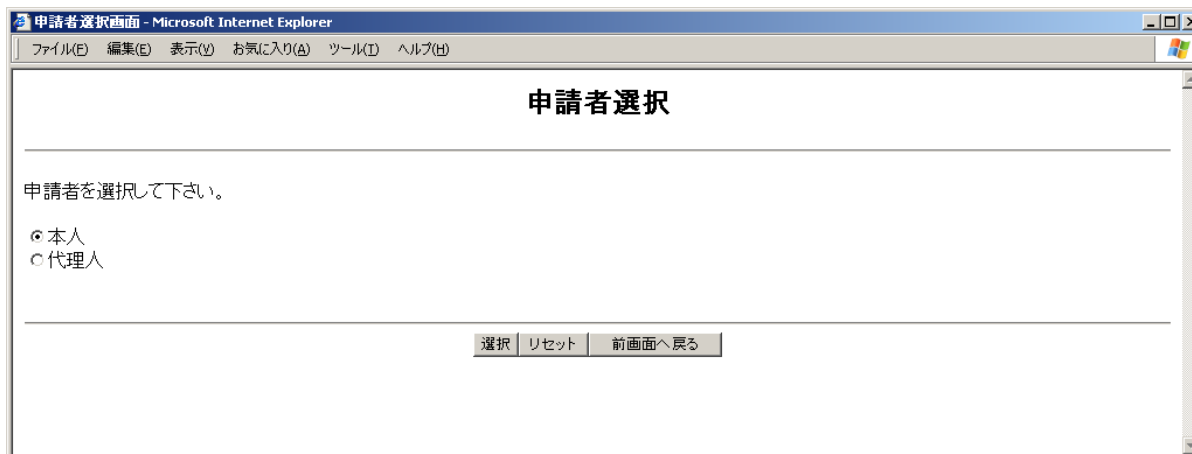


図 3-1.2 申請者選択

③ 申請経路入力方法選択画面から交差点番号指定による経路入力を選択し次画面へ移ります。

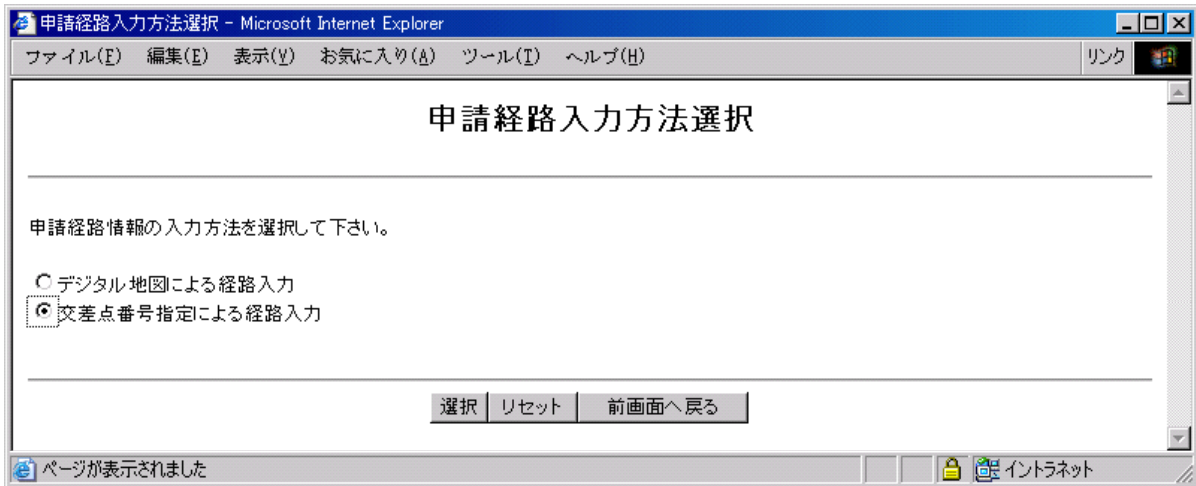


図 3-1.3 申請経路入力方法選択

④ 申請書入力方法選択画面でFD読み込みを選択して次画面へ移ります。

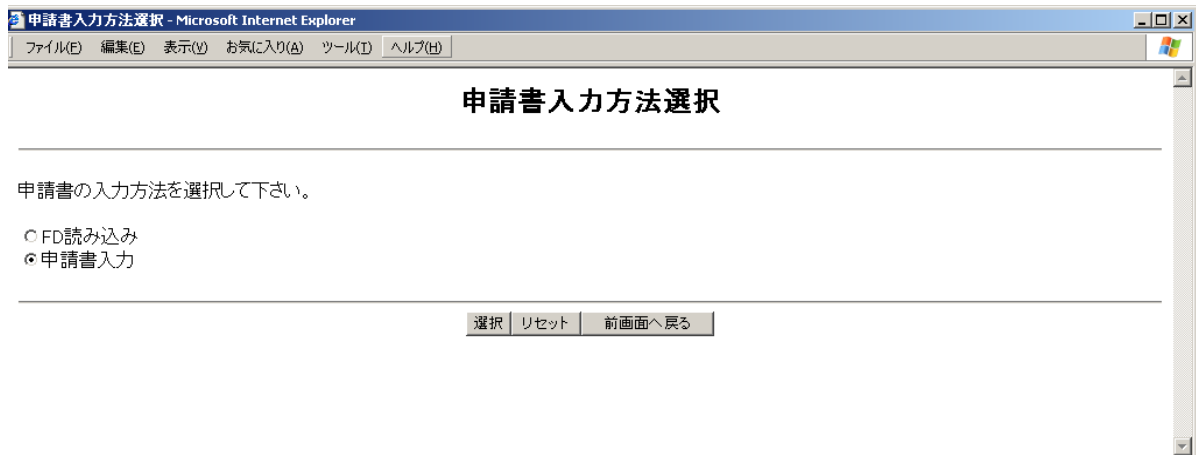


図 3-1.4 申請書入力方法選択

⑤ FD 読み込み画面で、**参照**ボタンを押し移行データファイルを選択後、**登録**ボタンを押し移行データを登録します。

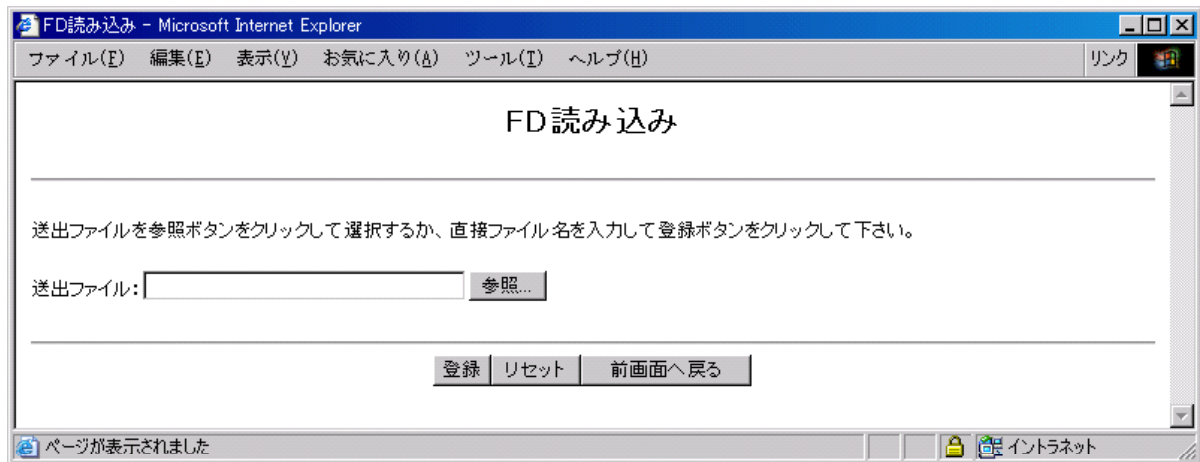


図 3-1.5 FD 読み込み

⑥ 申請書入力画面が開き、ファイルの内容が表示されます。

申請書入力(新規)

申請書情報を入力してください。

申請日 平成 16 年 3 月 23 日

通行開始日 平成 16 年 3 月 24 日 通行終了日 平成 17 年 3 月 23 日

申請者

法人区分等 株式会社〇〇

会社名・氏名(漢字) ABC運輸テスト ※株式会社などの法人区分等は
会社名・氏名(カナ) ABCウンユ 入力を省略して下さい。

代表者名(漢字) 特車太郎

代表者名(カナ) トクシャタロウ

郵便番号 115 - 0011 住所自動設定

住所(都道府県) 東京都 ※住所は漢字で入力して下さい。

住所(市区町村) 北区神谷 郵便番号自動設定

住所(丁目番地) 3-2-1

住所(ビル名)

市外局番 局番 番号

電話番号 03 - 3911 - 1111

申請担当者 ※申請を行う担当者の情報を入力して下さい。

部署名 本部

担当者名(漢字) 1太郎

市外局番 局番 番号

電話番号 045 - 333 - 1111

FAX番号 045 - 111 - 1112

メールアドレス tajika@kajiwara-build.co.jp1

図 3-1.6 申請書入力画面

以降は、通常の参照入力と同様に、申請データを編集し、申請書を作成してください。詳細は、申請支援システムのマニュアルを参照して下さい。